

■取材対応者（予定）



澤和樹 学長（写真右）
日比野克彦 美術学部・研究科長（写真左）

■核となるコンセプト・社会へのメッセージ

科学技術が際限なく進んでいく現代の社会において、人が人である魅力は芸術にある。人にとって人間性溢れるARTSの必要性を社会に発信していく。

●社会は芸術がなければ機能しない。芸術は社会の基盤として生活に根付き、人に豊かさをもたらすものである。日常の中での新たな視点からARTSを感じ、現代において見失いがちな、人ならではの力を社会に発信していく。

●科学・医学・福祉等あらゆる分野と繋がり、新しい価値を生み出し、社会を変えていくことができるARTSの力を発信していく。

身近な問題、地球環境問題などの社会的課題の解決に寄与し、状況を展開、改善できるARTSの力を発信していく。

芸術は人を愛する



■実施内容

①大学主催プログラム

「I LOVE YOU」のコンセプトのもと、「日本の伝統技法×南米の福祉施設での交流」「新しい楽器・デバイス×障がいの有無を超えて楽しめる芸術」「ゲーム×芸術」など、あらゆるものと結びつき新たな価値を生み出す芸術の可能性と、人間性溢れる芸術が社会に与えてくれる力を感じることができるプログラムを、美術・音楽・映像・国際芸術創造（アートプロデュース）の各学部・研究科等の主催により実施する。

②学内公募プログラム

コンセプトに基づく企画の公募を学内で大々的に行い、学生・教職員が主催する取組を選定し、本プロジェクトの一環として年間を通じて実施する。

■本プロジェクトに関連する取組

●Diversity on the Arts Project

「アート×福祉」をテーマに、「多様な人々が共生できる社会」を支える人材を育成するプロジェクトとして、履修証明制度を活用したプログラム（愛称:DOORプロジェクト）を平成29年度より開講。



●Arts Meet Science Project

グローバル化が進む中、より良い社会を実現するため、芸術と科学が互いに重なり合い、共有できる力を探求する多様なアプローチを展開していくことを目的とし、シンポジウム等を開催。



（写真提供 SPRINGER NATURE）

●ゲーム学科（仮）展

株式会社スクウェア・エニックス、南カリフォルニア大学との連携により、アニメーションからゲームに発展させた作品の制作・展示や、講義・ワークショップ等を「ゲーム学科（仮）展」として開催。

